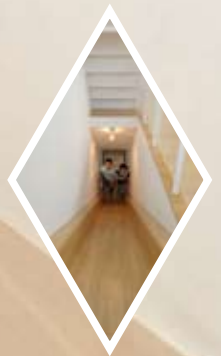


1歳3か月にしてすべり台上りをクリアした長女。ぐいぐい上り、筋力トレーニングにもなりそうだ。「移動がラクなので、大人もよく使ってますよ」(Yさん)

Let's  
Play  
at  
Home



## Case 4

児童館より楽しいかも?

# すべり台、図書室、 バーコーナーのある家

東京・品川区 Yさんの家 家族構成/夫46歳 妻42歳 長男13歳 次男10歳 長女2歳  
設計/中村和基+出原賢一

親子それぞれがガマンせず  
くつろげる家が理想

Y夫妻の住まいは、品川区の住宅地に建つ3階建ての家。長年集合住宅に住んでいたが、3人目の子を授かり、のびのび暮らせる戸建て住宅の実現を考えたという。

夫妻が望んだのは、親子それぞれがくつろげる家。「子ども用にセカンドリビングのような空間をつくれたらいいなと思った」とYさん。設計を担当したLEVEL Architects(以下、LEVEL)は、まず斜線や日影、建ぺい率を考慮し建物に最大限のボリュームを確保。1階をLDK、2階以上をプライベートに充てた。「斜線で屋根が斜めに切り取られた部分を吹き抜けとし、この空間をセカンドリビングではなく、フリースペースとする提案をし、受け入れられました」(LEVEL)。

約15㎡のこの空間は、可動式の机を置いただけで、その横に階段と大きな書棚があり、動き回るのも読書も自在。さらに階段室の下には、1・2階をつなぐすべり台も! 子どもたちは大喜びで、今は上下階の昇降にはたいいすべり台を使うという。「末の娘も兄たちのマネをして上がれるように。すべり台の途中の壁には開口があり、階下にいる私と目が合うようにしているのもミソです」と妻も楽しそうだ。



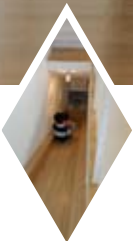
上・右ノフリースペースに唯一置かれているのが、反転させると本棚になる、キューブ状の便利なデスク。キャスター付きなので、そのときどきの過ごし方により置き場所をフレキシブルに移動できる。絵本作家である妻のアイデアを生かし、家具工事で仕上げたもの



1



1. 北側斜線によってつくられた細長いフリースペースと、すべり台、その上に3階への階段が。このちょっと不思議な空間、遊びに来る友達にも人気の的だ。吹き抜けでつくられた広い壁は、わずかなくぼみをつけて絵を飾れる仕掛け 2. 「ご本読んで～」の場所としてもお気に入り



2階から3階へ上がる階段は、途中から壁面に納まる形で、デザイン上すっきり。北側を斜めにカットした屋根のトップライトからの光が、空間をやわらかく包み、階下へも運ばれる

広くてすべり台もあるから  
友達を呼ぶのが楽しみで

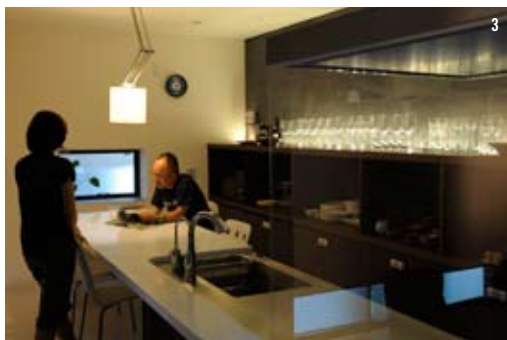


2



『 仕事の疲れを癒すバー仕様。  
今宵ものびのびゆるゆる… 』

1



3



2

1.天板を延長させてテーブルを一体化したキッチンスタイルは、調理と配膳、食事、片付けがはかどりそうと妻が要望。天板は人造大理石とステンレス、床はタイル、壁面は玄昌石のスレートと、素材感の違いがお互いを引き立てている 2.リビングは床レベルが一段下がり、段差は家族や来客が自由に腰かけるベンチとして活躍 3.子どもが寝静まった夜は、間接照明とペンダントライトの明かりだけに、シックなバーの雰囲気

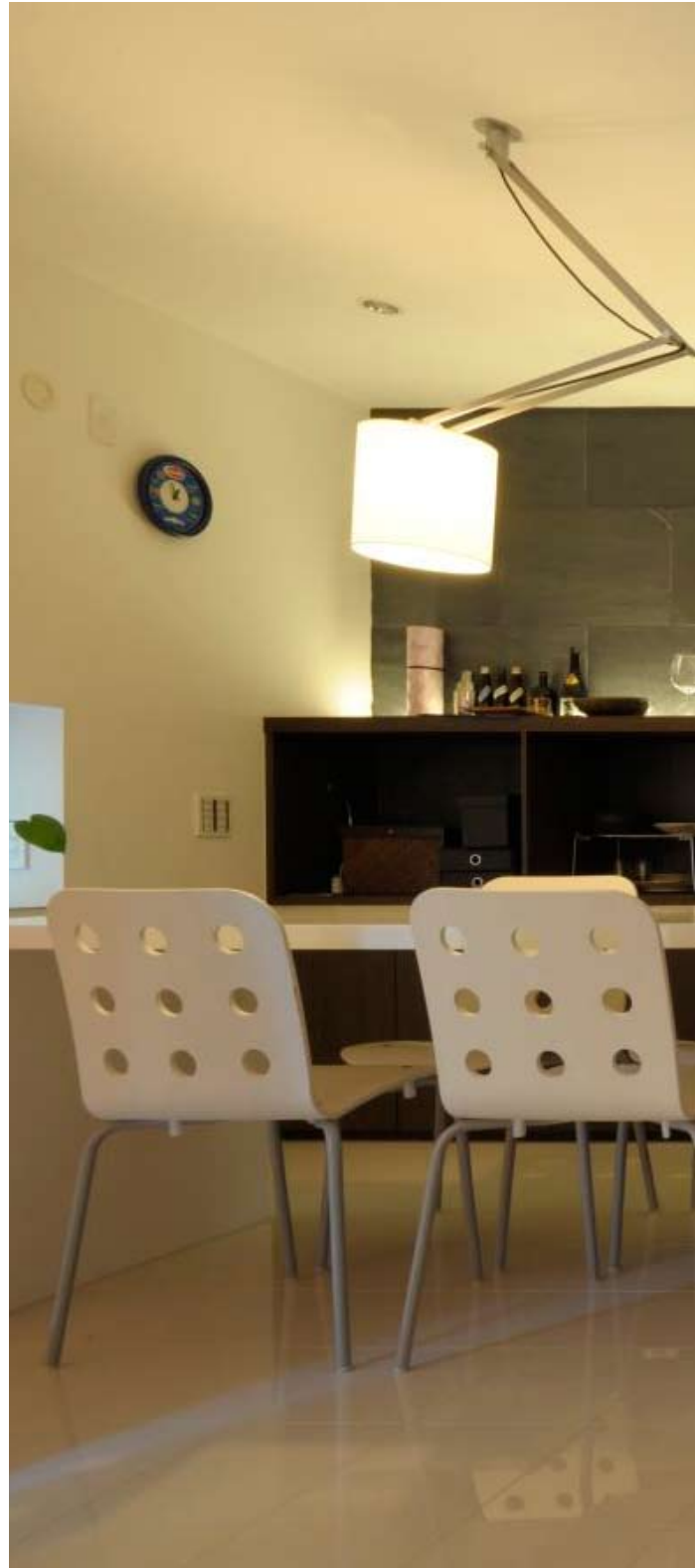
## 雰囲気重視のキッチンで 夜の静かなひとときを

この家には子どもたちだけでなく、大人の「遊び場」も実現されている。Yさんは、夜子どもたちが寝たあとは、キッチンをバーのような雰囲気を楽しみたいと要望。また週末はいつも家族のために腕を振るう料理好きでもあり、キッチンはそんなYさんの夢が込められている。

設計の段階で、YさんはLEV E Lのみなさんを行きつけのバーに招き、「こういう感じ」と見てもらったという。カウンターの素材、ガラスが並べられる収納、温かな間接照明…。「家で飲んでいると本当にくつろぎます。かといって、バーに行く回数が大きく減ったわけでもないんですが(笑)」(Yさん)。妻もイける口だが、今はノンアルコール飲料で夫とのひとときを楽しんでいるそうだ。

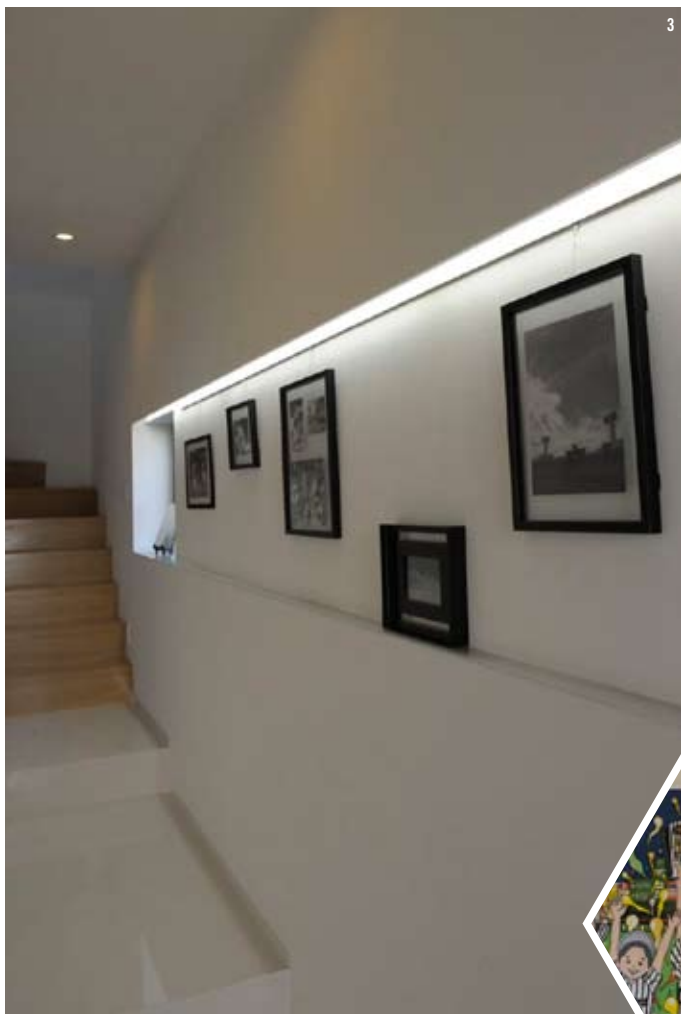
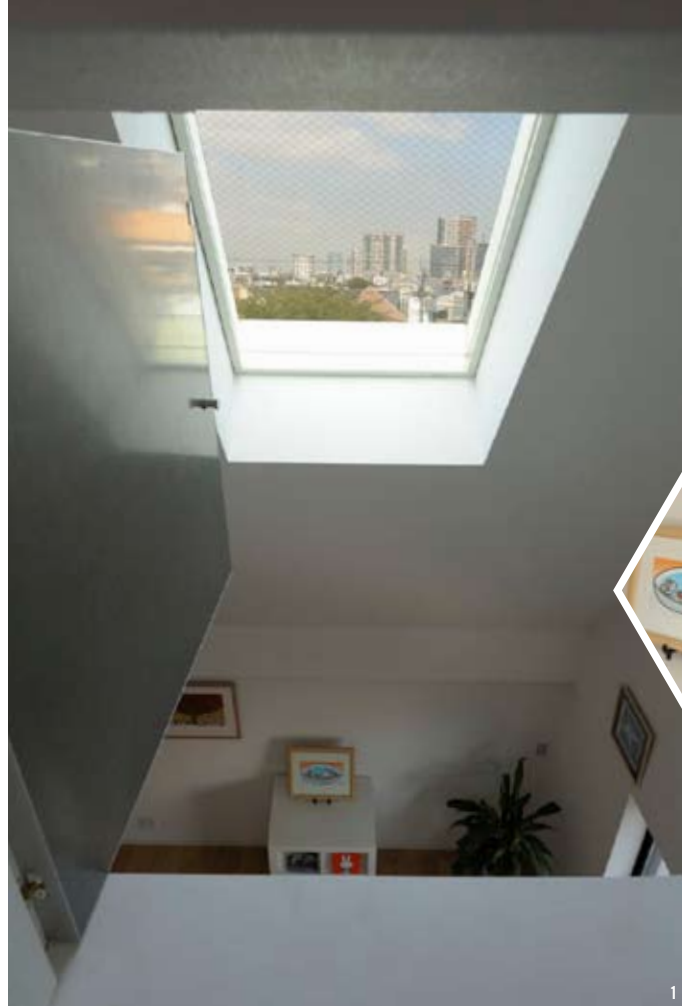
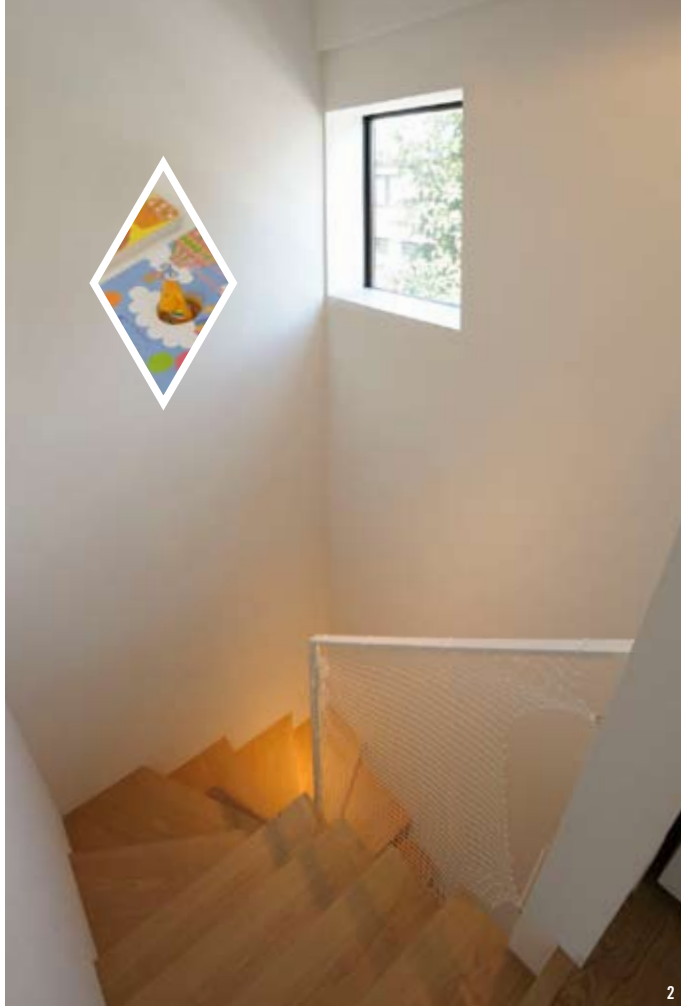
Let's  
Play  
at  
Home

左上／リビングの奥には細長い和室があり、もっか妻と長女の寝室として活用。「朝も、娘を寝かしたまま家事ができて重宝」(妻) 左／障子戸で開閉。太鼓張りの仕上げが、和モダンの趣きだ



4. 収納部の上、並べたガラスが間接照明で照らされて美しい光を放つ。ちなみに収納部は造り付けで、大震災の際もガラスが落ちることなど皆無だったそう  
5. キッチンカウンターは、人造大理石に頑丈なステンレスを組み合わせたYさん指定の仕様。「食事のあと片付けてからクロスで拭き上げ、ピカピカにするのが、また好きなんです」





1.Y 邸は古くからの住宅地に建ち、建物が密集している関係から、開口は控えめ。トップライトや地窓などを配し、十分な採光・通風を確保している。3階準備室に開けられた小さい扉を開けると、トップライト越しにのびのびとした風景が楽しめる

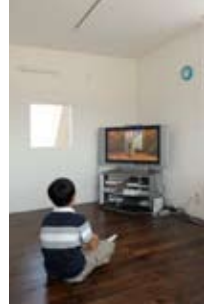
2. 階段室上部も開口に有効活用

3. エントランス脇の壁面はニッチ状の仕上げで、間接照明つき。写真などが飾られ、訪れる人をもてなす。今飾られているのは、Yさんが愛する阪神タイガースの写真

## Let's Play at Home

3階から階段室越しに、2階フリースペースを望んで。主寝室から下りてくると、トップライトから注ぐ明るい光に誘われ、一気に目が覚めそう





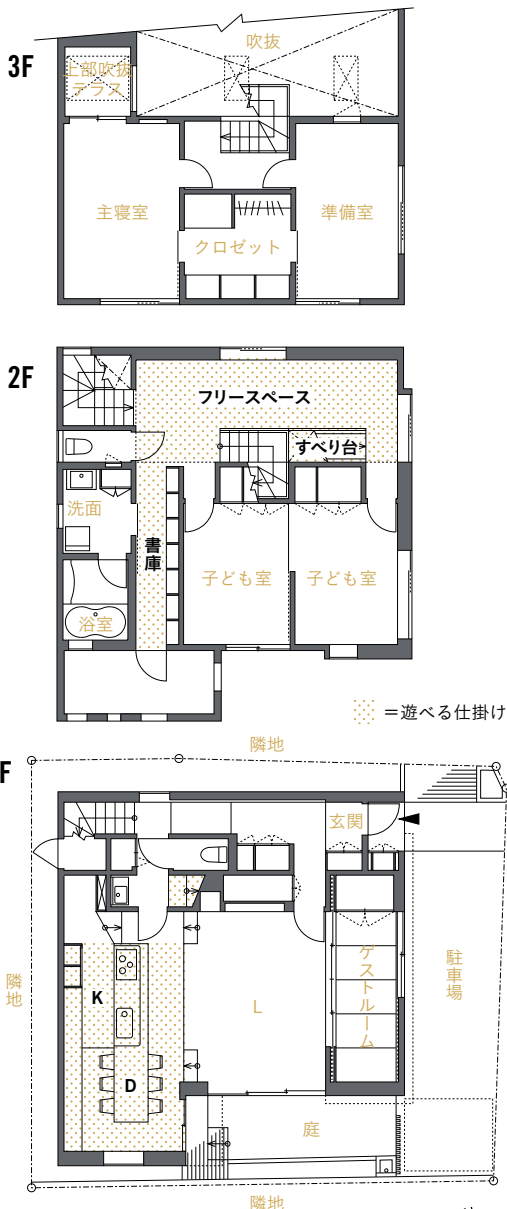
左上/2階には、兄と弟の部屋が。2つの部屋は大きな引き戸で仕切られ、今のところは開けたままのことも多い 右上/3階東側にある準備室。もっか妻の仕事部屋であり、使わないときは子どものゲームコーナーと、多用途に活用している。将来は長女の部屋に充てる可能性も



北側は高度斜線で切り取られた形状。屋根と北側外壁を同じガルバリウム鋼板とすることで、斜線規制を感じさせない



上/2階にはテラスへの通路の長さを利用し、大きな造り付け書棚を設置。妻の膨大な絵本コレクションをはじめ、子どもの本、そのほか多彩な書籍・雑誌が並べられ、さながらファミリーライブラリー。閲覧はフリースペースで！ 左/3階主寝室の外は、屋根面で斜めに切り取られた小さいテラスで、外部からほどよく遮られる



## Data

敷地面積 / 123.32㎡ (37.37坪)  
 延床面積 / 169.88㎡ (51.48坪)  
 1階 / 67.47㎡ (20.45坪)  
 2階 / 62.17㎡ (18.84坪)  
 3階 / 40.24㎡ (12.19坪)  
 用途地域 / 第1種住居地域  
 建ぺい率 / 60%  
 容積率 / 160%  
 構造 / 木造軸組工法  
 竣工 / 2010年8月

## Material

[外部仕上げ]  
 屋根 / ガルバリウム鋼板平葺き  
 外壁 / 同、一部リシン吹き付け  
 [内部仕上げ]  
 1階 床 / タイル、  
 ウォルナットフローリング、畳  
 壁・天井 / クロス、スレート  
 2階 床 / クリ無垢フローリング  
 壁・天井 / クロス  
 3階 床 / プナ無垢フローリング  
 壁・天井 / クロス

## Instruments

厨房機器 / オリジナル  
 衛生機器 / INAX  
 窓・サッシ / YKK AP、トステム

設計 / 中村和基 + 出原賢一 + 渋谷真弘  
 (LEVEL Architects)  
 大井町オフィス 〒140-0014  
 東京都品川区大井1-49-12-305  
 ☎03-3776-7393  
 横浜オフィス 〒232-0071  
 横浜市南区永田北1-6-27  
 ☎045-731-3092

施工 / ベルクハウス ☎042-538-2111

## From Architect

### 伝えることの大切さを学ぶ

Y邸は容積率が160%とはいえ、当初要望にあったセカンドリビングを確保するのは難しく、少々ムダとも感じました。2階の北側を広いテラスとする案もあったのですが、吹き抜けのフリースペースにして正解。階段やすべり台も込みで遊び回れ、図書室のようにも使えて、豊かな空間が実現できたと自負しています。また、バーのように楽しめるキッチンも、大人の遊び場。Yさんは私たちを呼びつけたバーに招いてくれ、ご自分のセンスやライフスタイルを提示してくださいました。それが大変役立ち、労をいとわず伝えることの大切さも感じています。

### Architect's Profile

#### 中村和基



1973年埼玉県生まれ。日本大学理工学部建築学科卒業。納谷建築設計事務所を経て2004年LEVEL Architectsを設立

#### 出原賢一



1974年神奈川県生まれ。芝浦工業大学大学院工学研究科建設工学専攻修了。納谷建築設計事務所を経て2004年LEVEL Architectsを設立